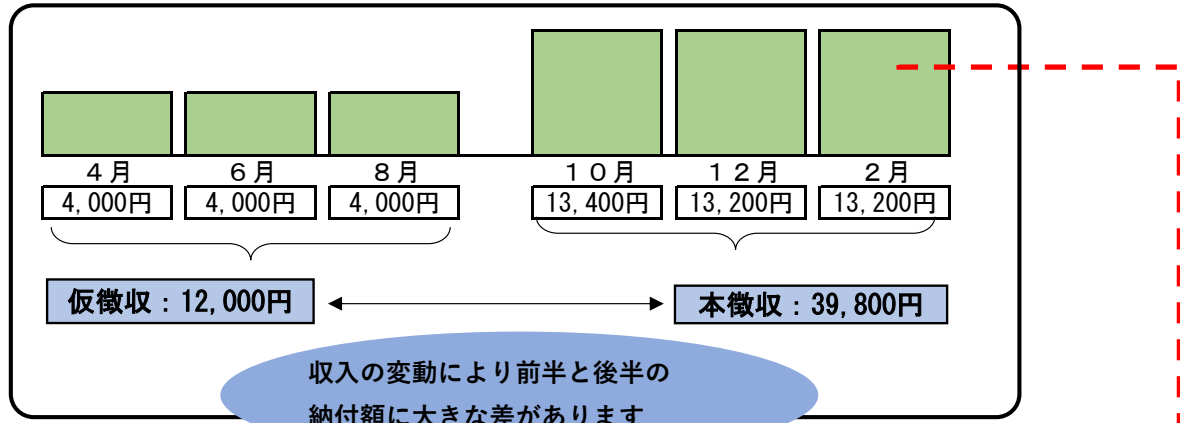


(例)

収入の変動等により納期の前半（仮徴収：4・6・8月）と後半（本徴収：10・12・2月）の納付額に大きな差が出ているかたで、令和2年度、令和3年度がともに所得段階第4段階の場合

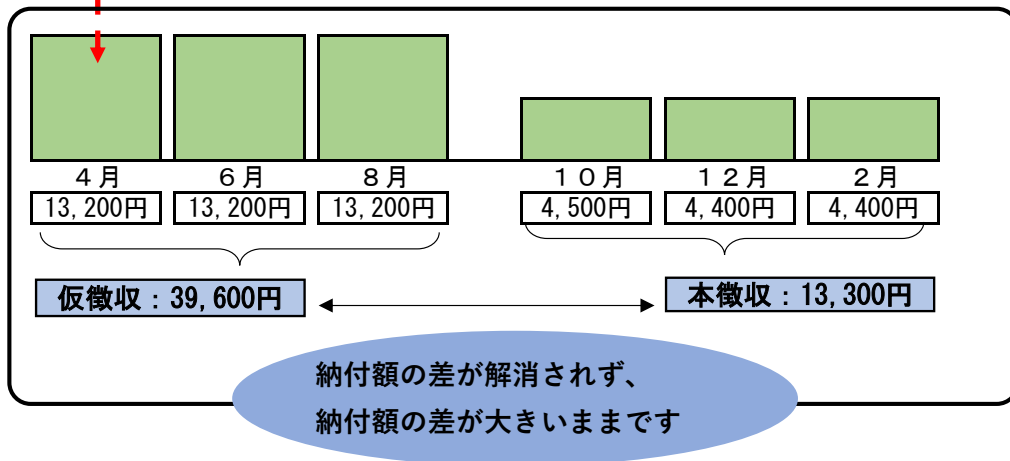
令和2年度介護保険料（年額 51,800円）



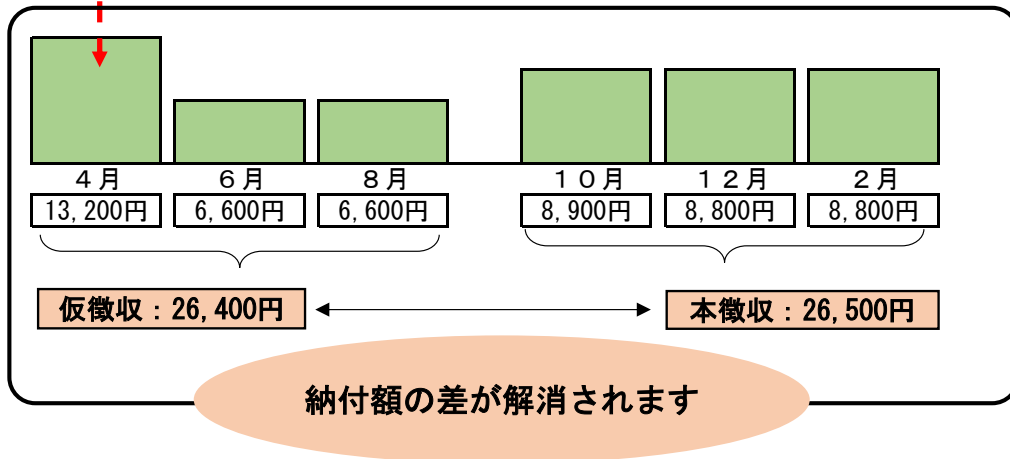
令和3年度4月分の納付額は2月の金額と同じ金額になります

令和3年度介護保険料（年額 52,900円）

○平準化を実施しないと・・・



○平準化を実施すると・・・



<平準化による納付額の積算方法>

- ① **前々年所得**で1年間の保険料を試算し、仮徴収で年額の半分か納付できるように6月と8月分の保険料を算出します

令和3年度 所得段階4段階 年額 52,900円

$$52,900円 \div 6 = 8,816\cdots円$$

$$\doteq 8,800円 \quad (100円未満切捨て)$$

$$8,800円 \times 3 = 26,400円 \quad (仮徴収の納付額)$$

$$(26,400円 - 13,200円) \div 2 = 6,600円$$

13,200円 : 4月分 (2月と同じ金額)
6,600円 : 6、8月分

- ② **前年所得**で年間の保険料が決定し、仮徴収で納めた額を差し引いた残額を3回で納付します

$$52,900円 - 26,400円 = 26,500円$$

(26,400円 : 仮徴収の納付額)

$$26,500円 \div 3 = 8,833\cdots円$$

$$\doteq 8,800円 \quad (100円未満は10月まとめます)$$

8,900円 : 10月分

8,800円 : 12、翌年2月分